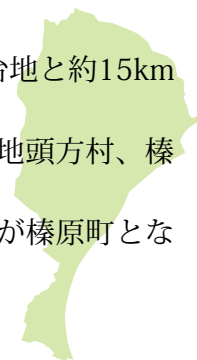


牧之原市は、静岡県の中部の南に位置し、全国有数の茶産地として知られる牧之原台地と約15kmの海岸線を有し、美しい駿河湾に抱かれた自然豊かなまちです。
明治22年に市町村制が施行され、現在の相良地域には、相良町・萩間村・菅山村・地頭方村、榛原地域には、川崎町・勝間田村・坂部村の2町5村が生まれました。
昭和26年には菅山村を相良町に合併し、昭和30年には相良全域が相良町、榛原全域が榛原町となりました。
平成17年10月11日、両町による対等合併で「牧之原市」が誕生しました。



市章

「マ」の文字と駿河湾・牧之原台地などの地勢、そして茶の葉をモチーフに「ふれあい ビタミン あいのまち」「うみ・そら・みどりと共に生きる」と未来を目指し、協調発展する姿を表現。下部の2つの茶の葉の模様は旧2町を表現しています。（平成18年3月制定）

市の花



アジサイ
(平成19年4月制定)

市の木



茶
(平成19年4月制定)



シティプロモーション 公式スローガン

シティプロモーション推進の一環として、キャッチフレーズ「RIDE ON MAKINOHARA ～夢に乗るまち まきのはら～」とロゴマークにより、市のイメージや魅力を市内外に発信しています。
(令和2年3月決定)



市制施行20周年 記念ロゴマーク

食べ物や花、特長など牧之原市の自慢したくなる魅力を一目見て伝わるようにシルエットで表現。円で囲むことで、「牧之原市とたくさんの人が繋がり、輪となるように」という作者の願いが込められています。
(令和7年2月決定)

牧之原市の歌



市の歌
など

うみ・そら・みどりと
牧之原

作詞…朝倉修／補作詞…志賀大介
作曲…四方章人／編曲…柴崎博昭

1. 遥かに仰ぐ 富士の峰
お茶の葉ゆたかに 薫る町

大らかな自然に 今日も抱かれて
ふれあう人の 絆はひとつ
光があふれる 愛の町

うみ・そら・みどりと 牧之原

2. きらめく波の 駿河湾
紫陽花やさしく 薫る町

巡りくる季節の 歌を聴きながら
笑顔で交わす 言葉はひとつ
お元気ですかと さわやかに

うみ・そら・みどりと 牧之原

3. 世界へつなぐ つばさあり
明るい希望の 薫る町

幸せはみんなの 創るものだから
あしたへ向かう 心はひとつ
なみだは勇気の 虹になる

うみ・そら・みどりと 牧之原

(平成27年10月制定)

